

弥 監 発 第 1 1 号
平成 2 6 年 8 月 2 6 日

弥彦村長 大 谷 良 孝 様

弥彦村監査委員 本 多 克
同 武 石 雅 之

平成 2 5 年度弥彦村一般会計・弥彦村国民健康保険特別会計・弥彦村
後期高齢者医療特別会計・弥彦村介護保険特別会計・弥彦村競輪事業
特別会計・弥彦村温泉事業特別会計 決算審査意見書

地方自治法第 2 3 3 条第 2 項の規定に基づき、標題の決算を審査したので、
その意見を別紙のとおり提出する。

平成25年度 弥彦村一般会計及び特別会計歳入歳出決算審査意見書

第1. 審査の概要

1. 審査の対象

- (1) 平成25年度 弥彦村一般会計歳入歳出決算
- (2) 平成25年度 弥彦村国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- (3) 平成25年度 弥彦村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- (4) 平成25年度 弥彦村介護保険特別会計歳入歳出決算
- (5) 平成25年度 弥彦村競輪事業特別会計歳入歳出決算
- (6) 平成25年度 弥彦村温泉事業特別会計歳入歳出決算

2. 審査の期間

平成26年8月7日・8日の2日間

3. 審査の場所

弥彦村役場 委員会室

4. 審査の手続

村長から送付された、一般会計他5特別会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書及び各基金の運用状況を示す書類について、法令の規定に従って作成されているかどうかを確認し、これに記載された計数について、各種関係帳票類及び証書類と照合、あるいは内容の検討を行い、併せて各課で作成された決算審査資料に基づき、関係職員の説明を聴取して、計数の正確性並びに予算の執行、管理の適正について、慎重に審査を実施した。

第2. 審査の結果

(1) 決算

審査に付された一般会計他5特別会計歳入歳出決算書、付属書類、各基金運用状況に関する調書等は、いずれも関係法令に準拠して作成され、計数は関係諸帳簿と符合して正確であり、出納諸帳簿と歳入歳出差引額は、各金融機関の残高証明書との額（現金は、例月出納検査で確認済み）とそれぞれ符合したので、決算計数は違算ないものと確認し、適正なる決算であることを確認した。

(2) 財産

財産に関する調書については、公有財産、債権、基金等、各調書の計数は誤りのないことを確認した。

第3. 審査の個別意見

各会計ごとの審査概要と意見については、次のとおりである。

1. 平成25年度 一般会計の概要

一般会計の決算額は、収入総額が39億4,605万4,983円（対前年度比2.55%増）、支出総額が37億8,822万4,481円（対前年度比3.61%増）となった。

地域の元気臨時交付金1億922万1,000円、防災安全交付金など国の経済政策により国庫支出金が大幅に増額となり、村税、地方交付税、前年度繰越金などが減額となったが、歳入においては、前年度を上回る決算となった。歳出においても、村道新設改良工事費、弥彦公園整備工事費の増及び地域の元気臨時交付金基金積立金により前年を上回っている。

今後も自主財源の確保を図りながら、歳出全般にわたり人件費、物件費などの経常経費の抑制に努め、更なる効率的・効果的・計画的な執行に努められたい。

(単位：円)

区 分	平成 25 年度	平成 24 年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
収 入 総 額	3,946,054,983	3,848,080,418	97,974,565	2.55
支 出 総 額	3,788,224,481	3,656,177,957	132,046,524	3.61
翌年度への繰越 (形式収支額)	157,830,502	191,902,461	△ 34,071,959	△ 17.75

(1) 実質収支について

実質収支額は1億5,752万7,502円の黒字で、前年度に比べて2,635万4,959円（14.33%）の減額である。

(単位：円)

区 分	平成 25 年度	平成 24 年度	比 較		
			増 減 額	増減率%	
形 式 的 収 支 額	157,830,502	191,902,461	△ 34,071,959	△ 17.75	
翌年度へ繰越すべき財源	継続費通次繰越	-	-	-	
	繰越明許費	303,000	8,020,000	△ 7,717,000	△ 96.22
	事故繰越額	-	-	-	-
	計	303,000	8,020,000	△ 7,717,000	△ 96.22
実 質 収 支 額	157,527,502	183,882,461	△ 26,354,959	△ 14.33	

(2) 決算指数について

(ア) 実質単年度収支額

実質収支額の1億5,752万7,502円に、財政調整基金他積立金1億1,881万2,000円を加え、前年度実質収支額1億8,388万2,461円、基金取崩額4,094万5,000円を差し引いた実質単年度収支額は5,151万2,041円の黒字となった。地域の元気臨時交付金の大部分を基金として積み立てたことが主な要因である。

実質単年度収支額の推移

(単位：円)

区分	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
実質収支額	157,527,502	183,882,461	255,540,951	246,825,165	216,902,571
前年度実質収支額	183,882,461	255,540,951	246,825,165	216,902,571	119,287,283
単年度収支	△ 26,354,959	△ 71,658,490	8,715,786	29,922,594	97,615,288
基金積立額	118,812,000	10,905,000	2,585,000	10,880,000	73,781,000
基金取崩額	40,945,000	6,364,000	12,000,000	33,000,000	2,000,000
繰上償還金	0	0	0	0	0
実質単年度収支額	51,512,041	△ 67,117,490	△ 699,214	7,802,594	169,396,288

(イ) 決算指数

実質収支比率は6.2%となり、適正指数といわれる3～5%により近付いた。経常収支比率は0.7ポイントの減少となったが、財政の硬直化を示す指数となるので、今後も減少に向けた予算執行に努められたい。公債費比率、起債制限比率は、いずれも前年度を下回っており、公債費負担比率も適正限度内であった。実質公債費比率については前年度を下回り14.9%となっており、引続き18%を超える起債許可団体から脱却している。財政力指数は、ほぼ同数値であるが、平成19年度をピークに年々数値が下がっている。分母となる基準財政需要額の数値にも左右されるが、近年では村税の減少が主な要因である。

今後も更なる経常的経費の節減と経常一般財源の確保に努め、健全な財政運営を切に望むものである。

一般会計決算指数の推移 (決算統計資料)

区分	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
標準財政規模	2,521,397千円	2,510,526千円	2,562,009千円	2,589,527千円	2,512,589千円
実質収支比率	6.2%	7.3%	10.0%	9.5%	8.6%
経常収支比率	81.3%	82.0%	84.2%	82.6%	83.3%
公債費比率	6.6%	7.2%	6.8%	7.4%	8.1%
起債制限比率	5.5%	5.6%	5.2%	6.7%	7.1%
公債費負担比率	10.5%	10.5%	10.0%	10.4%	9.9%
実質公債費比率	14.9%	15.7%	16.2%	17.6%	18.4%
将来負担比率	139.7%	137.6%	130.3%	124.1%	127.2%
財政力指数	0.406	0.406	0.415	0.438	0.459
地方債現在高	3,125,961千円	3,028,197千円	3,045,756千円	3,000,345千円	2,911,710千円
財調基金残高	392,400千円	400,300千円	400,200千円	400,100千円	400,000千円
財調基金比率	15.6%	15.9%	15.6%	15.5%	15.9%

※財政力指数＝単年度

(3) 歳入

(ア) 歳入決算の状況

収入済額は、前年度に比べ9,797万4,565円の増額となっており、調定額に対する割合は、97.24%で前年度に比べ0.46ポイント上回っている。

歳入決算の状況

(単位:円)

区 分	平成 25 年度	平成 24 年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
予 算 現 額	3,971,062,000	3,916,003,000	55,059,000	1.41
調 定 額	4,057,935,292	3,976,159,451	81,775,841	2.06
収 入 済 額	3,946,054,983	3,848,080,418	97,974,565	2.55
不 納 欠 損 額	11,369,323	29,419,740	△ 18,050,417	△ 61.35
収 入 未 済 額	100,510,986	98,659,293	1,851,693	1.88
予算現額と収入済額との比較	△ 25,007,017	△ 67,922,582	42,915,565	△ 63.18
収入済額の予算現額に対する割合	99.37%	98.27%		1.10
収入済額の調定額に対する割合	97.24%	96.78%		0.46

(イ) 財源別歳入決算の状況

歳入を財源別に見ると、依存財源は、村債を含め24億3,379万9,113円で、歳入決算額の61.68%を占め、自主調達財源は15億1,225万5,870円で38.32%である。依存財源が前年度より8.73ポイント増加しているが、自主財源である繰越金の減額と依存財源の国庫支出金、村債の増額がその主な要因である。

自主財源と依存財源別決算状況

(単位:円)

区分	平成 25 年度		平成 24 年度		比 較	
	決 算 額	構成比%	決 算 額	構成比%	増 減 額	増減率%
自主財源						
村 税	943,515,545	23.91	952,073,139	24.74	△ 8,557,594	△ 0.90
分担金負担金	71,853,600	1.82	78,101,700	2.03	△ 6,248,100	△ 8.00
使用料手数料	23,605,224	0.60	24,122,491	0.63	△ 517,267	△ 2.14
財産収入	10,542,388	0.26	13,671,376	0.36	△ 3,128,988	△ 22.89
寄付金	2,650,323	0.07	7,511,275	0.19	△ 4,860,952	△ 64.72
繰入金	50,945,000	1.29	14,364,000	0.37	36,581,000	254.67
繰越金	191,902,461	4.86	296,400,951	7.70	△ 104,498,490	△ 35.26
諸収入	217,241,329	5.51	223,453,111	5.81	△ 6,211,782	△ 2.78
計	1,512,255,870	38.32	1,609,698,043	41.83	△ 97,442,173	△ 6.05
依存財源						
地方譲与税	54,683,000	1.39	57,448,078	1.49	△ 2,765,078	△ 4.81
利子割交付金	1,898,000	0.05	2,346,000	0.06	△ 448,000	△ 19.10
配当割交付金	2,912,000	0.07	1,400,000	0.04	1,512,000	108.00
株式所得交付金	4,507,000	0.11	343,000	0.01	4,164,000	1213.99
地方消費税	77,357,000	1.96	78,022,000	2.03	△ 665,000	△ 0.85
自動車取得税	14,950,000	0.38	15,764,000	0.41	△ 814,000	△ 5.16
地方特例交付金	4,679,000	0.12	4,902,000	0.13	△ 223,000	△ 4.55
地方交付税	1,287,088,000	32.62	1,373,913,000	35.70	△ 86,825,000	△ 6.32
交通安全交付金	1,109,000	0.03	967,000	0.03	142,000	14.68
国庫支出金	450,013,110	11.40	242,600,699	6.30	207,412,411	85.50
県支出金	156,303,003	3.96	175,576,598	4.56	△ 19,273,595	△ 10.98
計	2,055,499,113	52.09	1,953,282,375	50.76	102,216,738	5.23
村 債	378,300,000	9.59	285,100,000	7.41	93,200,000	32.69
小 計	2,433,799,113	61.68	2,238,382,375	58.17	195,416,738	8.73
合 計	3,946,054,983	100.00	3,848,080,418	100.00	97,974,565	2.55

(ウ) 収入未済額の状況

収入未済額は、前年度に比べ185万1,693円(対前年度比1.88%)増加し、1億51万986円となっているが、現年課税分個人村民税の増額が主な要因である。厳しい経済状況下であるが、今後も地方税徴収機構と連携及び活用しながら、更なる滞納金の徴収を望むものである。尚、児童福祉費負担金(保育料)については、53万5,500円の増額となっており、特に現年度分が大幅に増加している。受益者負担金であるので、早期の回収に向け努力願いたい。

収入未済額 (単位:円)

区 分	平成 25 年度	平成 24 年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
村 民 税	7,203,940	5,398,897	1,805,043	33.43
固 定 資 産 税	87,596,036	87,358,836	237,200	0.27
軽 自 動 車 税	500,000	547,300	△ 47,300	△ 8.64
入 湯 税	3,526,910	4,229,660	△ 702,750	△ 16.61
児 童 福 祉 費 負 担 金	1,660,100	1,124,600	535,500	47.62
雑 入	24,000	0	24,000	皆増
合 計	100,510,986	98,659,293	1,851,693	1.88

(エ) 不納欠損額の状況

不納欠損額の状況は、前年度に比べ1,805万417円(対前年度比61.35%)減少し、1,136万9,323円となっている。地方税法等の規定に該当するもので、やむを得ないものと思われる。

不納欠損額 (単位:円)

区 分	平成 25 年度	平成 24 年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
村 民 税	329,093	751,125	△ 422,032	△ 56.19
固 定 資 産 税	10,127,400	28,607,435	△ 18,480,035	△ 64.60
軽 自 動 車 税	20,400	42,400	△ 22,000	△ 51.89
入 湯 税	892,430	18,780	873,650	4652.02
合 計	11,369,323	29,419,740	△ 18,050,417	△ 61.35

(4) 歳 出

(ア) 歳出決算の状況

歳出決算の状況では、支出済額は、前年度に比べ1億3,204万6,524円(対前年度比3.61%)増の37億8,822万4,481円となった。支出済額の予算現額に対する割合は、95.40%となり、前年度に比較して2.03ポイント増加した。不用額、予備費とも前年度より減額となっている。

歳 出 決 算 の 状 況 (単位:円)

区 分	平成 25 年度	平成 24 年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
予 算 現 額	3,971,062,000	3,916,003,000	55,059,000	1.41
支 出 済 額	3,788,224,481	3,656,177,957	132,046,524	3.61
翌 年 度 繰 越 額				
継 続 費 通 次 繰 越 額	-	-	-	-
繰 越 明 許 費 繰 越 額	30,607,000	80,820,000	△ 50,213,000	△ 62.13
事 故 繰 越 繰 越 額	-	-	-	-
計	30,607,000	80,820,000	△ 50,213,000	△ 62.13
不 用 額	152,230,519	179,005,043	△ 26,774,524	△ 14.96
(うち、予備費)	(103,040,496)	(134,475,790)	(△ 31,435,294)	(△ 23.38)
予算現額と支出済額との比較	182,837,519	259,825,043	△ 76,987,524	△ 29.63
支出済額の予算現額に対する割合	95.40%	93.37%		2.03

(イ) 目的別歳出の状況

歳出の目的別決算では、議会費・衛生費・労働費・農林水産業費・教育費・公債費で前年度より1億4,414万7,916円の減額となったものの、総務費・民生費・商工費・土木費・消防費・災害復旧費・諸支出金で2億7,619万4,440円の増額となり、総額では1億3,204万6,524円の増額となっている。

目 的 別 歳 出 の 状 況 (単位:円)

区 分	平成 25 年度		平成 24 年度		比 較	
	決 算 額	構成比%	決 算 額	構成比%	増 減 額	増減率%
議 会 費	68,717,692	1.81	70,503,262	1.93	△ 1,785,570	△ 2.53
総 務 費	364,138,593	9.61	331,344,156	9.06	32,794,437	9.90
民 生 費	921,638,017	24.33	919,132,721	25.14	2,505,296	0.27
衛 生 費	239,211,707	6.31	319,913,696	8.75	△ 80,701,989	△ 25.23
労 働 費	28,203,000	0.74	28,326,000	0.77	△ 123,000	△ 0.43
農林水産業費	152,154,646	4.02	167,180,720	4.57	△ 15,026,074	△ 8.99
商 工 費	224,453,400	5.93	210,981,082	5.77	13,472,318	6.39
土 木 費	768,005,676	20.27	669,301,032	18.31	98,704,644	14.75
消 防 費	251,577,360	6.64	231,431,615	6.33	20,145,745	8.70
教 育 費	334,434,542	8.83	354,612,219	9.70	△ 20,177,677	△ 5.69
災 害 復 旧 費	1,000,000	0.03	335,000	0.01	665,000	198.51
公 債 費	315,877,848	8.34	342,211,454	9.36	△ 26,333,606	△ 7.70
諸 支 出 金	118,812,000	3.14	10,905,000	0.30	107,907,000	989.52
合 計	3,788,224,481	100.00	3,656,177,957	100.00	132,046,524	3.61

2. 平成25年度国民健康保険特別会計の概要

国保会計の決算額は、歳入8億463万5,348円、歳出7億7,692万943円で歳入歳出差引額は、2,771万4,405円となっており、前年度実質収支額などを控除した実質単年度収支額は、382万3,324円の赤字で、前年度より赤字額は2,176万1,774円の減額となっている。

(単位：円)

区 分	平成25年度	平成24年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
収 入 総 額	804,635,348	866,536,357	△ 61,901,009	△ 7.14
支 出 総 額	776,920,943	834,798,628	△ 57,877,685	△ 6.93
実 質 収 支 額	27,714,405	31,737,729	△ 4,023,324	△ 12.68
前年度実質収支額	31,737,729	57,522,827	△ 25,785,098	△ 44.83
基金取崩額	0	15,000,000	△ 15,000,000	皆減
基金積立金	200,000	15,200,000	△ 15,000,000	△ 98.68
実質単年度収支額	△ 3,823,324	△ 25,585,098	21,761,774	△ 85.06

(1) 歳入決算の状況

歳入のうち国民健康保険税は、前年度より171万8,000円減の、1億7,836万9,500円の収入済額となっている。厳しい経済状況下にあつて、徴収策として短期保険証、資格者証交付等を利用して徴収に努めており、収入未済額は減額となっているが、今後も繰り越される未収金についての徴収に努力されたい。また、不納欠損額については、前年度より32万6,000円減の113万8,100円となっているが、地方税法の規定に該当するもので、やむを得ないものと思われる。

歳 入 決 算 の 状 況 (単位：円)

区 分	平成25年度	平成24年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
予 算 現 額	802,307,000	864,506,000	△ 62,199,000	△ 7.19
調 定 額	819,144,248	883,240,057	△ 64,095,809	△ 7.26
収 入 済 額	804,635,348	866,536,357	△ 61,901,009	△ 7.14
不 納 欠 損 額	1,138,100	1,464,100	△ 326,000	△ 22.27
収 入 未 済 額	13,370,800	15,239,600	△ 1,868,800	△ 12.26
予算現額と収入済額との比較	2,328,348	2,030,357	297,991	14.68
収入済額の予算現額に対する割合	100.29%	100.23%		0.06
収入済額の調定額に対する割合	98.23%	98.11%		0.12

(2) 歳出決算の状況

医療費の現状については、きめ細かな地域保健活動の実施をしており、平成25年度の保険給付費は前年度対比4,753万8,795円減となっている。特定健診、特定保健指導の実施により、更なる受診率の向上を目指し、医療費の抑制、適正化に努められたい。

歳 出 決 算 の 状 況 (単位：円)

区 分	平成25年度	平成24年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
予 算 現 額	802,307,000	864,506,000	△ 62,199,000	△ 7.19
支 出 済 額	776,920,943	834,798,628	△ 57,877,685	△ 6.93
不 用 額	25,386,057	29,707,372	△ 4,321,315	△ 14.55
(うち、予備費)	(25,168,347)	(29,495,960)	(△ 4,327,613)	(△ 14.67)
支出済額の予算現額に対する割合	96.84%	96.56%		0.28

3. 平成25年度後期高齢者医療特別会計の概要

後期高齢者医療特別会計の決算額は、歳入6,151万8,115円、歳出6,047万9,788円で歳入歳出差引額は、103万8,327円となっており、前年度より41万7,212円の増額となっている。

(単位：円)

区 分	平成 25 年度	平成 24 年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
収 入 総 額	61,518,115	60,361,408	1,156,707	1.92
支 出 総 額	60,479,788	59,740,293	739,495	1.24
翌年度繰越額	-	-	-	-
実質収支額	1,038,327	621,115	417,212	67.17

(1) 歳入決算の状況

歳入のうち保険料は、前年度より264万9,600円増の、4,185万2,400円であるが、収入未済額が9万1,100円発生している。新たな滞納者を出さないよう努められたい。

歳 入 決 算 の 状 況 (単位：円)

区 分	平成 25 年度	平成 24 年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
予 算 現 額	61,323,000	60,222,000	1,101,000	1.83
調 定 額	61,609,215	60,544,308	1,064,907	1.76
収 入 済 額	61,518,115	60,361,408	1,156,707	1.92
不 納 欠 損 額	-	-	-	-
収 入 未 済 額	91,100	182,900	△ 91,800	△ 50.19
予算現額と収入済額との比較	195,115	139,408	55,707	39.96
収入済額の予算現額に対する割合	100.32%	100.23%		0.09
収入済額の調定額に対する割合	99.85%	99.70%		0.15

(2) 歳出決算の状況

歳出については、前年度より73万9,495円増の6,047万9,788円となっている。広域連合と連携の上、的確な運用に努められたい。

歳 出 決 算 の 状 況 (単位：円)

区 分	平成 25 年度	平成 24 年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
予 算 現 額	61,323,000	60,222,000	1,101,000	1.83
支 出 済 額	60,479,788	59,740,293	739,495	1.24
不 用 額	843,212	481,707	361,505	75.05
(うち、予備費)	(419,000)	(445,000)	(△ 26,000)	(△ 5.84)
支出済額の予算現額に対する割合	98.62%	99.20%		△ 0.58

4. 平成25年度介護保険特別会計の概要

介護保険会計の決算額は、歳入7億5,463万403円、歳出7億4,917万149円で歳入歳出差引額は、546万254円となっており、前年度より928万7,477円の減額となっている。

(単位：円)

区 分	平成 25 年度	平成 24 年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
収 入 総 額	754,630,403	768,508,100	△ 13,877,697	△ 1.81
支 出 総 額	749,170,149	753,760,369	△ 4,590,220	△ 0.61
翌 年 度 繰 越 額	-	-	-	-
実 質 収 支 額	5,460,254	14,747,731	△ 9,287,477	△ 62.98

(1) 歳入決算の状況

歳入のうち介護保険料は、前年度より467万7,400円増の、1億6,238万8,700円の収入済額となっている。収入未済額は微増の118万8,500円となっているが、今後も繰越される未収金については、厳しい経済状況下ではあるが収納確保に万全を期されたい。また、不納欠損額については、前年度より増加し19万2,200円であるが、介護保険法の規定に該当するもので、やむを得ないものと思われる。

歳 入 決 算 の 状 況

(単位：円)

区 分	平成 25 年度	平成 24 年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
予 算 現 額	754,322,000	768,241,000	△ 13,919,000	△ 1.81
調 定 額	756,011,103	769,655,300	△ 13,644,197	△ 1.77
収 入 済 額	754,630,403	768,508,100	△ 13,877,697	△ 1.81
不 納 欠 損 額	192,200	87,900	104,300	118.66
収 入 未 済 額	1,188,500	1,059,300	129,200	12.20
予算現額と収入済額との比較	308,403	267,100	41,303	15.46
収入済額の予算現額に対する割合	100.04%	100.03%		0.01
収入済額の調定額に対する割合	99.82%	99.85%		△ 0.03

(2) 歳出決算の状況

歳出については、保険給付費が前年度より1,337万3,044円減の7億44万4,167円となっている。平成24年度から始まった第5期事業計画に基づき、地域包括支援センターと共に介護予防事業を推進し、給付費の抑制に努められたい。

歳 出 決 算 の 状 況

(単位：円)

区 分	平成 25 年度	平成 24 年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
予 算 現 額	754,322,000	768,241,000	△ 13,919,000	△ 1.81
支 出 済 額	749,170,149	753,760,369	△ 4,590,220	△ 0.61
不 用 額	5,151,851	14,480,631	△ 9,328,780	△ 64.42
(うち、予備費)	(4,555,000)	(14,416,000)	(△ 9,861,000)	(△ 68.40)
支出済額の予算現額に対する割合	99.32%	98.12%		1.20

5. 平成25年度競輪事業特別会計の概要

競輪事業会計の決算額は、歳入151億4,711万3,986円、歳出151億3,208万3,198円で、実質収支額は1,503万788円となっている。これに前年度実質収支額657万3,819円を控除し、基金積立金4,940万円を加算した実質単年度収支額は、5,785万6,969円の黒字となっている。

(単位:円)

区 分	平成25年度	平成24年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
収 入 総 額	15,147,113,986	15,290,053,567	△ 142,939,581	△ 0.93
支 出 総 額	15,132,083,198	15,283,479,748	△ 151,396,550	△ 0.99
翌年度繰越額	-	-	-	-
実 質 収 支 額	15,030,788	6,573,819	8,456,969	128.65
基 金 積 立 金	49,400,000	1,600,000	47,800,000	2987.50
前年度実質収支額	6,573,819	9,983,859	△ 3,410,040	△ 34.16
基 金 取 崩 額	0	36,500,000	△ 36,500,000	皆減
一 般 会 計 繰 出 金	-	-	-	-
実質単年度収支額	57,856,969	△ 38,310,040	96,167,009	△ 251.02

(1) 歳入決算の状況

車券発売収入は、前年度より1億1,095万1,100円減の、148億6,574万3,000円となった。これは、寛仁親王牌競輪での車券売上収入が、昨年度より3億895万6,600円減少したことが大きな要因であった。一方、普通競輪の売上は2億126万3,000円の増加であった。

歳 入 決 算 の 状 況

(単位:円)

区 分	平成25年度	平成24年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
予 算 現 額	15,148,253,000	15,289,552,000	△ 141,299,000	△ 0.92
収 入 済 額	15,147,113,986	15,290,053,567	△ 142,939,581	△ 0.93
予算現額と収入済額との比較	△ 1,139,014	501,567	△ 1,640,581	△ 327.09
収入済額の予算現額に対する割合	99.99%	100.00%		△ 0.01

(2) 歳出決算の状況

経営の効率化により、単年度収支は黒字となり、前年度取り崩した財政基金をほぼ積み戻すことができた。平成27年度も寛仁親王牌の開催が決定したことは明るい材料であるが、一層の経費の節減に努め、収益を確保されたい。また、ファンの高齢化が進んでおり、新規ファン層の獲得が喫緊の課題である。

歳 出 決 算 の 状 況

(単位:円)

区 分	平成25年度	平成24年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
予 算 現 額	15,148,253,000	15,289,552,000	△ 141,299,000	△ 0.92
支 出 済 額	15,132,083,198	15,283,479,748	△ 151,396,550	△ 0.99
翌年度繰越額	0	0	0	0.00
不 用 額	16,169,802	6,072,252	10,097,550	166.29
(うち、予備費)	(6,039,000)	(2,586,000)	(3,453,000)	(133.53)
支出済額の予算現額に対する割合	99.89%	99.96%		△ 0.07

6. 平成25年度温泉事業特別会計の概要

温泉事業会計の決算額は、歳入2,683万8,257円、歳出2,631万9,560円で歳入歳出差引額は、51万8,697円となっており、前年度実質収支額を控除し、基金積立額を加算した実質単年度収支額は、173万5,416円の赤字となっている。一般会計へは、前年度より200万円の増の1,000万円を繰り出した。

(単位:円)

区 分	平成 25 年度	平成 24 年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
収 入 総 額	26,838,257	25,546,039	1,292,218	5.06
支 出 総 額	26,319,560	22,791,926	3,527,634	15.48
実 質 収 支 額	518,697	2,754,113	△ 2,235,416	△ 81.17
基 金 積 立 金	500,000	500,000	0	0.00
前 年 度 実 質 収 支 額	2,754,113	2,606,495	147,618	5.66
基 金 取 崩 額	-	-	-	-
実 質 単 年 度 収 支 額	△ 1,735,416	647,618	△ 2,383,034	△ 367.97

(1) 歳入決算の状況

歳入のうち、温泉使用料は桜井郷温泉が130万2,714円の増額、湯神社温泉が15万6,114円の減額となっており、前年度より114万4,600円増の2,408万4,144円となっている。収入未済額は前年度より減少し212万5,556円となっているが、今後も繰越される未収金については、収納確保に万全を期されたい。なお、不能欠損については、25年度は計上されなかった。

歳 入 決 算 の 状 況 (単位:円)

区 分	平成 25 年度	平成 24 年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
予 算 現 額	26,889,000	25,583,000	1,306,000	5.10
調 定 額	28,963,813	28,112,973	850,840	3.03
収 入 済 額	26,838,257	25,546,039	1,292,218	5.06
不 納 欠 損 額	0	402,192	△ 402,192	皆減
収 入 未 済 額	2,125,556	2,164,742	△ 39,186	△ 1.81
予算現額と収入済額との比較	△ 50,743	△ 36,961	△ 13,782	37.29
収入済額の予算現額に対する割合	99.81%	99.86%		△ 0.05
収入済額の調定額に対する割合	92.66%	90.87%		1.79

(2) 歳出決算の状況

一般会計に前年度より200万円増の1,000万円の繰り出しを行ったが、実質単年度収支は赤字となった。施設の維持修繕費が増えてきているので、引き続き経費の抑制に努め、健全財政を維持されたい。

歳 出 決 算 の 状 況 (単位:円)

区 分	平成 25 年度	平成 24 年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
予 算 現 額	26,889,000	25,583,000	1,306,000	5.10
支 出 済 額	26,319,560	22,791,926	3,527,634	15.48
不 用 額 (うち、予備費)	569,440 (125,011)	2,791,074 (2,690,689)	△ 2,221,634 (△ 2,565,678)	△ 79.60 (△ 95.35)
支出済額の予算現額に対する割合	97.88%	89.09%		8.79

第4. 財産管理状況

土地については、行政財産において、公園用地の取得により156.37㎡の増、普通財産において、やひこ桜井郷温泉民活関連事業用地取得と売却及びグランドホテル駐車場跡地の取得により1,818.40㎡の増となった。建物については、行政財産において、公園トイレ2カ所の新築と古いトイレの分類換え及び観光交流センターの建設により差引264.83㎡の増、普通財産において、トイレの分類換えにより43.20㎡の増となっている。今後も引き続きやひこ桜井郷温泉民活関連事業用地の売却や、売却可能な遊休地を売却するなどの確な財産管理に努められたい。

第5. 基金の運用状況について

本年度中における基金の増減については、減額となった基金は、財政調整基金、寄付金積立基金の2基金で、増額となった基金は地域の元気臨時交付金基金、競輪財政基金など7基金となり、差引き合計で1億2,797万7,000円増の15億2,541万1,000円となった。

注 記

1. 比率(%)は、小数点以下第2位、または、第3位を四捨五入した。
2. 構成比率(%)は、合計が100となるよう一部調整した。
3. 「-」は、該当数値のないものである。
4. 増減率は、増減額を24年度数値で割り返したものである。